

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公開番号】特開2011-206990(P2011-206990A)

【公開日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2010-75747(P2010-75747)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 19/20 (2006.01)

B 4 1 J 13/00 (2006.01)

B 6 5 H 5/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 19/20 C

B 4 1 J 13/00

B 6 5 H 5/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

なお、図18、図19で説明した例は、表1の条件[2]に該当するものである。図17で説明した2行×N列のノズル配列に対して、相対振動周期Pvとオフセット量OSyの関係が表1の条件[1]となる場合の描画結果の例を図4、図5に示す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 3】

また、図20で説明した6行×N列のノズル配列に関して、表1の条件[1]に相当する場合の描画結果を図6、図7に示す。(なお、図21、22は表1の条件[2]に該当するものである)

良好な条件[1]に該当する図5、図7では、図19、図22に見られた振動ムラが低減していることが分かる。なお、比較のために、ここでは相対振動の片振幅は同じく5μmであり、相対振動の周期を500pix = 10.6mmとした。